

天井賀
通玄院



望山内家が用いた
天井賀の地

至久



本村御の旗負船
城下八連の塩屋の船

志和石鳥
珊瑚城伝説

白鳳地震記
大正明
魚師大式漁で
大いに栄えろ

白鳳年間の684年、大地震にぶつ、
志和沖合に、天黒田の都と
志和の大きな島が海中深く沈んだ
といふ。この島は、
志和の大きな島が海中深く沈んだ
といふ。この島は、
志和の大きな島が海中深く沈んだ
といふ。この島は、

御社(1300年の史)
御社(1300年の史)
御社(1300年の史)
御社(1300年の史)

中土佐町
四丁町



志和砲台跡
志和砲台跡
志和砲台跡



薬師堂
恵心作
薬師如来坐像

船頭物部
海上漁業守護神 恵美須姫

志和今昔
藩政期から高南台地の
高知生業之、蔵を構えた高家
造船や航海技術に長じた
重要な地であった。

古くは、
古くは、
古くは、

志和しあわでの里

明治5年、174までは
薬師寺が身小屋一
尋常小学校と化した。
(古くは、修業年は4年)

天照大神
H23年内校
明治18年米倉が志和校舎。

天満宮
天満宮
天満宮

天満宮
天満宮
天満宮

山野上氏に
志和氏家臣、たが志和城後
山内氏に、たが志和城後
山内氏に、たが志和城後

古くは、
古くは、
古くは、

歴史とロマンの昔

お乃さま
城主則延の娘で才色兼備。
望川、西原城へ嫁ぐ。嫁入り
いよいよ志和に、城を洗った
妻谷の大城に、城を洗った
お乃さまは、今も志和に消
命したと伝説されている。

志和の海
志和の海
志和の海

志和と勤助
志和と勤助
志和と勤助

志和と領主
志和と領主
志和と領主

志和と城跡
志和と城跡
志和と城跡

至興津
冠山

置修 林一将